

## 令和7年度 地域連携推進会議議事録

(可茂学園)

- 開催日時 令和7年10月20日(月)午後3時00分
- 開催場所 可茂学園会議室

### ○参加者

- ・可茂学園入所利用者代表
- ・可茂学園入所利用者保護者代表
- ・瀬田地区担当民生・児童委員
- ・福祉関係者 障がい者基幹相談支援センター専門相談員
- ・市担当者 可児市福祉支援課 障害者支援担当者
- ・可茂学園 山口施設長、堀田支援部長、川村支援部長

### ○会議次第

- ・施設長挨拶
  - 可茂学園の運営方針、沿革の説明
  - 地域連携推進会議の目的及び役割の説明
  - 会議参加者の紹介
- ・支援部長より利用者の皆さんの日常生活等について説明・紹介
- ・意見交換
- ・施設見学

### ※意見交換

#### ・保護者代表

可茂学園には、親が面倒をみきれない分、良く面倒をみてもらっており、非常にありがたく思っています。作業なども取り入れていただき、こうしたことも無ければ、ダラダラになってしまうと思います。子供が土・日に帰ってくると学園でのことを色々話してくれます。職員の皆さんが一生懸命なことは保護者会としても皆でありがたいと思っております。「先生どう？」と聞くと「いいよ！」と返してくれる。これが一番大事で、親としては非常に安心できて、満足しているところです。

春祭りなどでは、地域の人やボランティアの方たちが来てもらって、焼きそばを作ってもらったり、音楽やゲームをやってもらったりしてとてもありがたいと思っております。反対に学園から地域への貢献はよくわかりませんが、学園の事を地域では大事に思ってもらっていると思っております。

昔は、こうした施設を嫌がるというようなことがありましたが、今では地域の皆様から温かく見守ってもらっていると感じています。もし、何か不都合のようなことがあったら教えてくださいね。保護者として皆で話し合っ解決していきたいと思います。

親亡き後の事についてですが、これまでの可茂学園での前例を見ていると本当に良く最後まで面倒をみてもらっており、たとえここに居られなくなっても次の施設とか病院を紹介してもらっており、安心しております。看護師さんも一生懸命やってもらっていますし、心配はしていません。「手をつなぐ親の会」というのがありまして、県大会やいろんな機会があり、専門の先生からも教えてもらえますし、割と皆安心してあります。

全知連で加入している障害保険があり、保険会社から年1、2回説明に来てもらえて、こんなものもありますよなどと紹介してもらえます。がんも含めて生命保険にも入っている。こうしたバックアップもとてもありがたく思っております。

今後ともお世話になりますが、よろしく願いいたします。

(利用者代表がなかなか話し始めることができず、質問方式で答えてもらう)

・施設長

可茂学園の生活は楽しいですか？

・利用者代表

楽しい。

・施設長

心配事は無いですか。

・利用者代表

無い。

・施設長

可茂学園への要望や改善点は無いですか。

・利用者代表

無い。

・施設長

職員、先生たちは優しいですか。怒らないですか。

・利用者代表

先生たちは優しい。怒られない。

・施設長

他の利用者の人たちとはうまくやれていますか。

・利用者代表

うまくやれている。

・施設長

ハンドベル部に所属して地区センターまつりに参加してステージで演奏していますね。おまつりの雰囲気を楽しんでいますか。

・利用者代表

ハンドベルは楽しい。

(ここから自発的に話される)

・利用者代表

「さんぼ」と「夢をかなえて！ドラえもん」を今、練習している。

会場ではみんなに聴いてもらえるし、これからも続けていきたい。

この前、郡上へ旅行(注：学園行事の親睦小旅行)に行った時、食品サンプルを作った。今、部屋にあるから持ってくる。

・施設長

それでは、後で見せてもらうことにしましょうか。皆さん一緒にあなたの部屋を見せてもらってもいいですか。そしてその時に、作品を見せてもらうことにしたらどうでしょうか。

・利用者代表

じゃあ、後で部屋へ案内します。

・地区担当民生・児童委員

老人施設は、たまに行っていますが、可茂学園(障害者の支援施設)は初めてです。今日は良い機会だと思っております。民生・児童委員としては、こうしたいろいろ話し合える会議がたくさんあるといいですね。老人施設でも、こうした会議はほとんどないです。入所者と直接会って話すこともほとんどありません。入所している方たちの状況を知ることは大事で、こうしたことをオープンな形でやっておけば、何かあった時には対応しやすいと思います。

・施設長

国の施策として、「地域移行」という究極の目標があり、今後は入所施設の新設は行わず、グループホームや一般のアパートへの移行を促し、健常者と共に地域で生活する方向へ進もうとしています。そうすると、地域がちゃんとみてあげなければならないわけです。

地域の人が可茂学園の中を知ることは難しいかもしれませんが、可茂学園の利用者を地域の人たちがよく知ってもらって、地域でフォローできるかどうか、そうした条件がそろっているだろうか、という議論もこれから必要になってくると思います。

・地区担当民生・児童委員

難しいかもしれませんが、皆さんに仕事を持ってもらって地域で暮らすこと

はできないのでしょうか。

・施設長

入所施設を利用しておられる方々に働いていただくことは難しいと思います。

・地区担当民生・児童委員

地域では、実態をまったく把握できていません。ある程度、生活を自分でできる人でないと難しいと思います。施設利用にもお金がかかっているでしょう。経済面も考えていかなければならないのではないですか。

・保護者代表

私の息子たちは、障害年金をもらっており、その収入で通帳を作り、そこからさらに食費とかシーツ交換代とかいろいろなものを引き落とししてもらっています。余ったものは本人の貯金として残していきます。

保護者会としては、その貯金は使わないように、また、親さんによっては、必要なものは親が買ってやるなど、少しでも多く本人の将来のために残すように考えています。

今年は物価が上がり、一方では年金額はなかなか上がらないので、貯金できる額は少ないですが、ちょっとずつでも残せるようにしています。我々は年に2回ほど監査をさせてもらっていますが、多い子では1千万円を超える子もいる。タバコを吸う訳でもなく、パチンコをやる訳でもなく、女遊びも知らない。そんな子たちなので、本当に貴重な国からいただく年金はありがたいわけですが、もっともっといただけるといいなと思います。

ここの保護者会は「手をつなぐ育成会」という全国組織に入っており、この組織の要望として、こうした入所施設は無くしてはならないと運動しています。私に言わせれば、国は非常に無責任で、受け入れ体制ができていればいいのですが、全然受け入れ体制ができていないのに、「地域移行」なんてとんでもない話だと思っています。それこそ、子供が行方不明になったり、自殺したり、病気になって死んだりすることだってあるのに、親の目も届かない。これを思うと、今ある入所施設は親にとってもありがたい最後の抛り所となっています。

障がいの程度にもよりますが、中度、重度の子たちが入っているのも、もしこの施設を無くそうなどと国がやろうものなら、我々はむしろ旗を立てて国へ押し寄せて抗議することになるでしょう。。

現状、利用者はここに入れてもらえて恵まれています。地域には色々な方がいらっしやるので、この可茂学園はなくてはならないと強く訴えたいと思います。私の考え方が間違っていたらいけません。おそらく保護者はみんなこんな考えを持っていると思います。

かつて自分の息子も麦の丘で働いていた時期もありましたが、ほとんどの子は無理だと思います。中度、重度の子たちには、難しいでしょう。A型やB型

事業所という施設があり、働けそうな子たちには、働ける場所も考えてもらえています。

・市担当者

利用者さんのお話で、ここ可茂学園での生活が楽しいとお伺いして良かったなと思いました。可茂学園さんは来年移転されるんですね。地域とのつながりを考えるとき、新しい場所に移った後、良い関係ができあがるといいなと思います。完成した後、地域の人たちに内覧してもらえるといいですね。計画はありますか。

・施設長

同業事業所などを対象に内覧会を予定しようと思いますが、地域、石森地区からもご指摘のような内覧会を期待しておられる方々がお見えですので、入所利用者の方々の引越し前に、一定期間を定めて見てもらえたらいいなと考えています。

・市担当者

そうですね、そんなところから地域と関われるきっかけができればいいですね。

・施設長

新しい施設の中に、仮称ですが、「地域カフェ」という喫茶店と言えるほどのものではないのですが、地域の一般の方もご利用いただける小さなカフェを作る計画を持っています。麦の丘からパンを運び入れパンと飲み物等をセットした軽食を提供するやり方で、地域の人たちにも自由にご利用いただき、ガラス越しに利用者の活動の様子も見ていただけたらと考えております。保護者の方々にも送迎の折にでも休憩していただき、地域の方々との交流にも役立てていただけたらいいと思っております。ただ、出入り自由とは申しましたが、夜間をはじめセキュリティ設備はしっかり備えております。

・市担当者

さきほどお話がありましたように、高齢者に関しては、地域の方々と施設の関係者が話し合えるような会議が多少あったとのことですが、障がい者施設に関しては今回が初めてということですので、今回のような機会が今後もあったらいいですね。

・福祉関係者

可茂学園は可児市において唯一の入所施設ですので、可児市の人ですと、ここで短期入所などを利用されることにもなるので、親がみられなくなった後も頼りになる場所として、今後も引き続き受け入れをしていただきたいと思いますし、継続して運営をしてもらいたいと思います。

・施設長

基幹相談支援センターのお立場で、可茂学園にも相談支援センターがありますが、連携をしていただき相談支援を行っていただきたいと思います。我々も定数を超えない範囲ではありますが、お困りの方のご要望にはお応えして参りたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

・福祉関係者

こちらこそよろしく願いいたします。

※施設見学（可茂学園内）

施設長及び支援部長の案内で施設内見学。

加えて、承諾を得た利用者代表の部屋の中を見せていただいた。



会議の様子



施設見学